（実施要項のＶ－１（５）③に該当する者）

臨 時 講 師 等 勤 務 歴 申 告 書

校　種　等 （○で囲むこと）	受験教科 （科目）	フリガナ 氏　　名
小・中・高・特小 特中・特高・養教		

（必ず**自署**すること。）

勤　務　校	職名【臨時講師又は臨時養護助教諭】	勤　務　期　間	勤務月数
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
		年　月　日～　年　月　日	月
合　計　勤　務　月　数			**月**

記入上の注意

1　受験する校種、教科（科目）にかかわらず、**平成２６年４月１日から令和元年５月３１日まで**の青森県内の国立学校又は公立学校の臨時講師（非常勤講師を除く）又は臨時養護助教諭として勤務した期間を古いものから順に記入すること。

2　青森県内の国立学校及び市町村費の臨時講師又は臨時養護助教諭の勤務期間については、別途**「職歴証明書」**を添付すること。

3　「勤務月数」の欄は、各欄に月単位で記入すること。勤務月数については、１日でも任用のあった月を、１月とする。なお、同一の月に２つ以上の任用がある場合は、重複しないように、いずれか１つの任用に含めるものとする。

（例）① 任用期間 平成３０年４月１２日～平成３０年９月２日の場合
勤務月数は４月～９月までの６月とする。

② 任用期間 平成３０年４月１２日～平成３０年９月２日…Ａ
平成３０年９月１２日～平成３０年１２月２日…Ｂ
Ａの勤務月数は①のとおり。
Ｂの勤務月数は、９月についてはＡで算入されているので１０月～１２月までの３月とする。

4　**申告内容が事実と異なる場合、又は資格要件を満たさないことが判明した場合は、採用内定を取り消す**ことがあるので、内容をよく確認して申込みすること。